

# 令和2年度こんにゃく原料需給実績

(単位:精粉20kg/袋)

項目 年度(R2.11~R3.10)	需 要 量 (消費量)	供 給 量					期 末 在 荷 量
		期初在荷量	国内生産量		輸 入 量	供 給 量 合 計	
			生 産 量	春 切 り 量			
計算式	a=f-g	b:前年実績	c:実績	d	e:実績	f=b+c+d+e	g:注2参照
原料(国内・輸入)数量実績 (前年度実績)	235,700 235,000	251,600 216,800	241,700 260,200	3,000 5,000	6,200 4,500	502,500 486,600	266,800 251,600
製品 輸入数量実績 (前年度実績)	17,900 19,700	0 0	0 0	0 0	17,900 19,700	17,900 19,700	0 0
合計 (前年度実績)	253,600 254,700	251,600 216,800	241,700 260,200	3,000 5,000	24,200 24,300	520,400 506,300	266,800 251,600
前年比(%)	99.6%	116.1%	92.9%	60.0%	99.6%	102.8%	106.0%

注1)ラウンドしているため加減があわないことがある。

注2)算出方法は以下のとおり。なお、算出方法は各年度に必要な見直しを行い21年度まで遡って再計算しているため過去の発表数値とは連続しない。

①期初在荷量は、⑦と同様の方法で算出したR元年度の期末在荷量251,600袋とした。

②生産量は、令和2年産生産量(53,700トン)から算出(53,700×1,000×歩留(9.002%)÷20kg)し、241,700袋とした。

③春切り量は、3,000袋とした。

④原料輸入量は、1次関税枠(20.0トン)及び2次関税枠(104.3トン)の輸入量(124.3トン)から算出(124.3×1,000÷20kg)し、6,200袋とした。

⑤製品輸入数量は、輸入量(11,845トン)から、精粉換算(製品倍率33倍)で算出(11,845×1,000÷33÷20kg)し、17,900袋とした。

⑥原料需要量は、製造業者のサンプル調査より求めた買入量比使用率を、製造業者買入量推計値に乗じて235,700袋とした。

⑦期末在荷量は、供給量合計(502,500袋)から需要量(235,700袋)を引いて266,800袋とした。